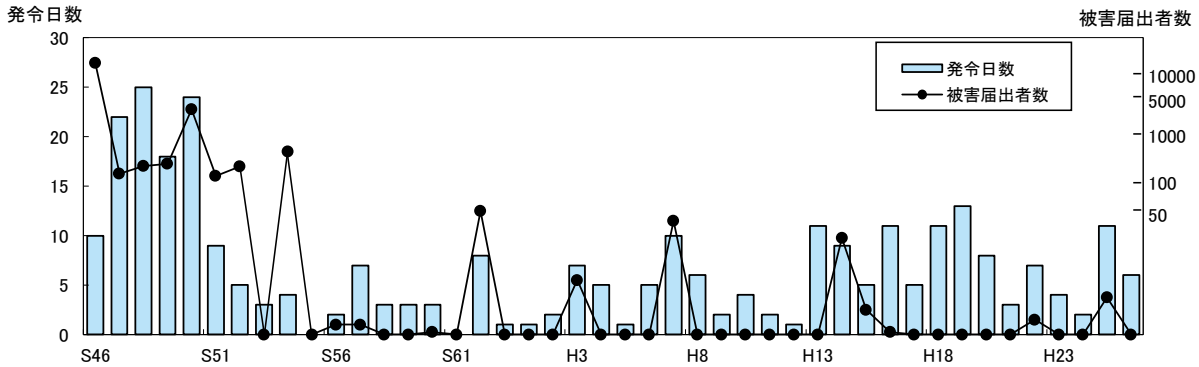
平成 26 年度光化学スモッグ注意報発令状況

市では、光化学オキシダントが高濃度になるおそれがある時期（4月～10月）に、監視体制をとっています。今年度、光化学スモッグ注意報※1の発令日数は6日（6月：2回、7月：3回、8月：1回）で、昨年の11日と比べて減少しました。また、光化学スモッグによる健康被害の届出はありませんでした。今年度の発令状況は以下のホームページで確認できます。

市ホームページ :http://sc.city.kawasaki.jp/taiki/OX/OT2014.html

※1　注意報発令基準：オキシダント濃度（1時間値）が 0.12ppm 以上であり、気象条件からみてその状況が継続すると認められるとき。



【光化学スモッグ注意報発令日数の推移】

（注）昭和 47 年度及び昭和 50 年度の発令日数は、光化学スモッグ警報発令日がそれぞれ 1 日含まれています。

問い合わせ：環境局環境対策課　　TEL 200-2516　FAX 200-3922

大気中の放射線量モニタリング結果（平成 26 年 11 月）

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、11 月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

●建物屋上（連続測定）･･･ 約 0.03 ～ 0.04 マイクロシーベルト / 時間で推移（11 月 15 日現在）

●地表面付近（月 1 回測定）･･･ 測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト / 時間

地表面からの高さ	環境総合研究所（土・草地）	環境総合研究所（アスファルト）	中原大気測定局（アスファルト）	麻生大気測定局（土・草地）
100cm・50cm・5cm	0.04	0.05	0.06 ～ 0.07	0.05

※マイクログレイ / 時間で測定した値をマイクロシーベルト / 時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1 グレイ＝ 1 シーベルト」として換算します。

※文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は 0.03 ～ 0.1 マイクロシーベルト / 時間です。なお、神奈川県が川崎市内 5 か所に設置しているモニタリングポスト（地上約 3m）の平成 21 年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は 0.023 ～ 0.042 マイクロシーベルト / 時間でした。

市ホームページ：http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html

問い合わせ：環境局環境対策課　　TEL 200-2516　FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(平成 26 年 11 月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、11 月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

●埋立処分場空間放射線量(連続測定)･･･ 0.049 ～0.071 マイクロシーベルト / 時間で推移(11月15日現在)

●埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル／L

	測　定　値	基　準　等	測　定　頻　度
埋立処分場内水	2.2 ～ 3.1 (検出下限値：1.0)	国の目安値　75 本市の管理目標値　10	週 2 回
放流水	2.2 ～ 2.7 (検出下限値 :1.0)	国の目安値　75 本市の管理目標値　10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値 :1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、10 月 15 日から 11 月 15 日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html

問い合わせ：環境局処理計画課　　TEL 200-2590　FAX 200-3923